

菊池地域の“新茶”を多くの人に届けたい



献茶祭



八十八夜の5月1日、菊池神社で茶の繁栄と作業の安全を祈り、50年続く献茶祭を行いました。

森田哲生部会長が「摘採開始が例年より1週間ほど遅れたが、寒暖差もあり、品質の良い茶葉ができた。おいしいお茶に仕上がっている。新茶を急須でゆっくり味わってほしい。お茶づくりにこだわるベテランと若手が共に、品質の高い茶製造に向けて研さんを重ね、仕上がりは上々」とあいさつしました。菊池茶の品質の良さ、おいしさをしっかりPRして多くの人に届けたいと思います。

※うま味を引き出す「蒸し製玉緑」、味と香りに優れる「煎茶」などが作られ、直売所などで販売されています。



鎌田博昭さんの茶畑より、一番茶摘採のようすが地元ニュースで紹介されました。

「カスミソウ」“母の日”に最盛期

北宮農センター 富田 孝志

部会員全員で「カスミソウ」品質統一

母の日に需要期を迎えるカスミソウの出荷目均らし会を開き、出荷基準や出荷日の確認を行いました。

出荷最盛期となる4月16日から5月8日の母の日までの期間は、部会員全員が検査員としてカスミソウ出荷前の検査を実施し意識を統一。品種は「アルタイル」「パールスター」など。ボリュームがあり、品質も良好と市場でも評判が良く、関東を中心に全国へ6月いっぱい出荷します。カスミソウの花言葉は「感謝」です。大切な人への贈り物にカスミソウを添えていただけたらと思います。



4月中旬から5月上旬まで、部会員が検査員として検査を行いました。



検査を行うカスミソウ



◀ 出荷最盛期がメディアで取り上げられ、カスミソウ専門委員長の坂本悠三さんが対応しました。

▶ 査定会で出荷基準や出荷日を確認。

